

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330421109	家庭科研究 Research of Home Economics	熊崎 稔子			2	必修	2前期

科目の概要

小学校家庭科では、家族と家庭生活や衣食住の生活を対象として、生活を営むために必要な資質や能力を育成する教科である。生活をよりよくするために、家庭生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識や技術を身につけ、児童が生活を営む場面で生じてくる課題を解決することのできる力の養成を目指す。本科目では、小学校学習指導要領の家庭編を読み解き、小学校家庭科の目標を達成するための学習指導案作成や教材づくりに取り組み、効果的な学習を導く授業づくりができる知識と技術を身につけることを目標とする(DP1・3・5)。

学修内容	到達目標
① 小学校学習指導要領 家庭編の目標や内容を理解する。 ② 家庭科教育の特性をふまえて教材研究し、計画的に教材作成に取り組む。 ③ 布を用いた生活に役立つ物を考えて製作する。 ④ 栄養に考慮した食卓を考えて安全に調理する。	① 小学校学習指導要領 家庭編の目標や内容を説明することができる。 ② 家庭科教育の特性をふまえて教材研究し、計画的に教材作成をすることができる。 ③ 布の性質や扱い方を理解し、適切な手順・方法で生活に役立つ物を製作することができる。 ④ 栄養に考慮した料理の組み合わせを考え、安全に調理することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。
	傾聴力	グループワークで、他者の意見を聞き、様々な考えがあることを理解する。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 家庭編」文部科学省
「わたしたちの家庭科5・6」開隆堂

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「家庭科研究」は専門科目の小学校領域に配置されており、その後に履修する「家庭科教育法」「小学家庭」の基盤となる科目である。
資格との関連：小学校教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
- 配布プリントはファイルに綴じて整理すること。 - 食物アレルギーがある場合は、必ず申告すること。	- 遅刻は授業開始後20分以内とする。3回遅刻で1回欠席になる。 - 実習に必要な費用を別途徴収する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	30	①	✓			・シラバスをきちんと読んで活用しているかを評価する。 ・小学校学習指導要領 家庭編の目標や内容の理解度を評価する。 ・衣生活領域の基礎知識の修得度を評価する。 ・食生活領域の基礎知識の修得度を評価する。 【獲得】 小学校家庭科を教えるための基礎知識：50% 【活用】 小学校家庭科における授業での知識の活用：25% 【解決】 小学校家庭科における授業のさらなる展開へ繋げる力：25%
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		レポート	30	①	✓			・学習指導案の作成。 ・被服実習後のまとめレポート。 ・調理実習後のまとめレポート。 【獲得】 被服・調理実習における基礎知識：50% 【活用】 被服・調理実習において知識の活かし方：25% 【解決】 被服・調理実習の学びを日常生活へ繋げる力：25%
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓			・被服実習での制作物を評価する。 【獲得】 布の扱い方や縫い方などに関する基礎知識：50% 【活用】 正しく布を扱い、手順よく制作できる：25% 【解決】 使い勝手のよい制作物となるように考えて実行できる：25%
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。 （実行力）課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。 （課題発見力）事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）物事を考える時に、固定概念に捉われないことなくいろいろな方向から考えることができる。 （発信力）整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。 （傾聴力）グループワークで、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規律性）遅刻、居眠り、私語、など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S：筆記試験において、小学校家庭科を指導する上で必要な衣食住に関する技能・技術を論理的に説明することができる。製作実習や調理実習にしっかり取り組み、仕上がりも美しく、レポートの内容が優れている。 A：筆記試験において、小学校家庭科を指導する上で必要な衣食住に関する技能・技術を具体的に説明することができる。製作課題や調理実習にしっかり取り組み、レポートの内容が良い。	B：筆記試験において、小学校家庭科を指導する上で必要な衣食住に関する技能・技術がある程度説明することができる。製作課題や調理実習に取り組み、レポートがまとめられている。 C：筆記試験において、小学校家庭科を指導する上で必要な衣食住に関する技能・技術を説明することができる。製作課題や調理実習に取り組み、レポートが提出できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 小学校家庭科の学習内容について振り返る	講義 グループワーク 質疑応答にてフィードバック	小学校家庭科の学習の意義を説明することができる。	(予習) シラバスを活用し、授業概要、学修内容、到達目標を読む。 (復習) 小学校における家庭科の学習内容についてまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
2	小学校学習指導要領 家庭科の目標・内容 (家族・家庭生活、食生活)	講義 質疑応答にてフィードバック	小学校家庭科の目標と内容(家族・家庭生活、食生活)を説明することができる。	(予習) 学習指導要領(p.12～48)を読んで理解する。 (復習) 小学校家庭科の「家族・家庭生活」「食生活」についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	小学校学習指導要領 家庭科の内容(衣生活、住生活)	講義 質疑応答にてフィードバック	小学校家庭科の内容(衣生活、住生活)を説明することができる。	(予習) 学習指導要領(p.49～70)を読んで理解する。 (復習) 小学校家庭科の「衣生活」「住生活」についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	小学校家庭科の指導計画の考え方と評価	講義 質疑応答にてフィードバック	小学校家庭科の指導計画を立てることができる。	(予習) 学習指導要領(p.71～85)を読んで理解する。 (復習) 自分の考えた指導計画を見直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	衣生活①：裁縫の基本 ・道具の名称及び使い方 ・手縫い ・ボタン付け	講義 実習	裁縫の基本について理解する。	(予習) 「わたしの家庭科」(p.18～24)を読む。 (復習) 裁縫の基本的な事柄をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	衣生活②：ミシンを使ってエプロン製作	講義 実習	エプロンを作るための計画を立てることができる。 ミシンを使ってエプロン作りに取り組める。	(予習) 「わたしの家庭科」(p.34、37)を読む。 (復習) ミシンの使い方についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	衣生活③：ミシンを使ってエプロン製作 エプロンにアレンジする ・ポケットをつける ・ネームをつける	講義 実習	手縫いとミシン縫いの技術を用いてオリジナル作品を作り上げる。	(予習) オリジナルエプロンにするためのアイデアを考え、必要なものを用意する。 (復習) エプロンを作る過程を記録し、まとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	食生活①：調理の基本 ・身支度 ・調理実習室の安全な使い方と衛生管理 ・湯の沸かし方と急須でのお茶のいれ方	講義 実習 質疑応答にてフィードバック	調理の基本を理解することができる。	(予習) 「わたしの家庭科」(p.8～11)を読む。 (復習) 実習内容のレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	食生活②：食品をゆでる ・卵、青菜、じゃがいもをゆでて調理する。	講義 実習 質疑応答にてフィードバック	卵、青菜、じゃがいもをゆで、その様子を観察・記録することができる。	(予習)「わたしの家庭科」(p.12～15、100、101)を読む。 (復習)実習内容(ゆでる)のレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	食生活③：食品を炒める ・卵、青菜を炒めて調理する。	講義 実習 質疑応答にてフィードバック	卵、青菜を炒め、その様子を観察・記録することができる。	(予習)「わたしの家庭科」(p.71～75)を読む。 (復習)実習内容(炒める)のレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	食生活④：ごはんを炊く、正しい箸の持ち方 ・炊く前(米)と炊いた後(ご飯)を比べる ・米がご飯になる過程を観察する ・茶碗と箸を正しく持つ	講義 実習 質疑応答にてフィードバック	米の調理特性を理解し、実験の様子を観察し、記録することができる。	(予習)「わたしの家庭科」(p.45～47)を読む。 (復習)米についてレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	食生活⑤：だしとみそ汁について ・かつおぶし、煮干し、昆布でだしをとる ・赤みそ、白みそ、合わせみそなど、みそを比較する ・みそ汁を作る	講義 実習 質疑応答にてフィードバック	だしの特性とだしのとり方を理解する。 みその違いを自分の言葉で説明することができる。 だしをとってみそ汁を作ることができる。	(予習)「わたしの家庭科」(p.48、49)を読む。 だしとみそについて調べる。 (復習)だしとみそ汁についてレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	住生活：エコな住まい方 ・「エコな住まい方すごろく」を使って、エコについて考える ・生活の仕方と環境について考える	講義 グループワーク 質疑応答にてフィードバック	エコな住まい方について自分の言葉で説明することができる。	(予習)自身の生活について、環境を守ることにつながること、改善する点とよい点をまとめる。 (復習)自身の生活に合った環境を守る行動目標を決め、実践する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	オンデマンド：小物作り ・ICT教材を視聴しながら、作品を作る	動画視聴 個別学修	手縫いにおける適切な技能・技術を用いて作品を作り上げる。 作品を作る過程を記録しまとめることができる。	(予習)生活に役立つ小物を考え、必要な物を用意する。 (復習)自身の作品について、製作過程を記録し、レポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	小物作りの発表 ・作品の発表と評価	講義	作品作りに込めた思いや工夫を説明することができる	(予習)自身の作品についてプレゼンテーションするための準備をする。 (復習)クラスメイトの作品に対して、教員の立場になり、適切なコメントをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力